

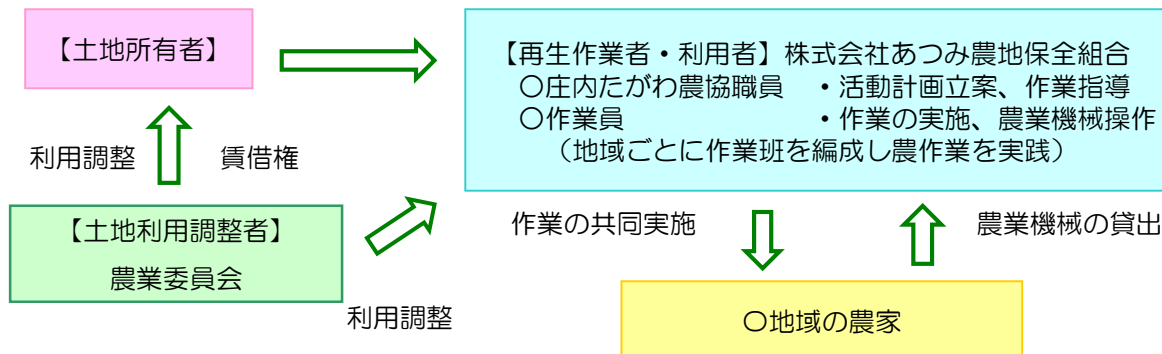
## 農地保全維持の確立、雇用の場の創出で耕作放棄地を再生利用

取組主体	・ 株式会社 あつみ農地保全組合	地区名	・ 鶴岡市温海地域
解消面積	・ 3.9ha(全体76ha)	取組年次	・ 平成24～25年
解消内容	・ 作物作付け(そば、赤かぶ等)	放棄の理由	・ 後継者不足、担い手不足
取組のきっかけ	・ 耕作放棄地の解消、営農振興と雇用の創出	荒廃の程度	・ 雑草の繁茂、一部樹木の侵入

## 取組の概要

- 庄内たがわ農協温海基幹支所が耕作放棄地及び自己保全田の解消、営農振興と雇用創出を目的として任意団体「あつみ農地保全組合」を平成24年6月に設立し、耕作放棄地解消事業を実施しようとしていたところ、耕作放棄地の再生利用緊急対策事業の情報を得ました。
- 平成24年度より、所有者と特定作業受委託契約を締結しながら、耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用して再生に取り組んでいます。
- 平成26年8月6日に「株式会社あつみ農地保全組合」として法人化し、今後、鶴岡市農業委員会、農地中間管理機構を通じた農地の貸し借りを行ってまいります。
- 活動計画の立案、作業指導は、法人の事務局である庄内たがわ農協職員が担当し、作業や農業機械の操作等は作業員を雇用して実施しています。
- 収穫物は、庄内たがわ農協に出荷し、食品会社や加工施設に販売しています。

## 取組体制



## きっかけは？

耕作放棄地及び自己保全田の解消、営農振興と雇用創出を目的として耕作放棄地解消事業を実施しようとしていたのがきっかけです。

## 活用した支援策

- 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金（国 H24～25）

## 課題と解決

引き受け  
手確保

・あつみ農地保全組合の農業経営規模拡大の意向により解決しました。

利用調整

・鶴岡市農業委員会が利用調整を行いました。

再生作業

・国の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用しました。

導入作物

・地元で需要があるそば、赤かぶを導入しました。今後はポットわらびを導入します。

販路

・庄内たがわ農協に出荷し、食品会社や加工施設に販売しています。

## 取組の成果等

○今後も、担い手不足等により放棄された地域の農地等について再生を行うほか、様々な形で地域に貢献していきたいと考えています。地域おこしにもつながると思うので、さらに規模を拡大を目指します。【株あつみ農地保全組合】

○本事業の活用などにより、耕作放棄地は再生されています。農業振興協議会のほか、市農政課や農家の方々との連携を図り、耕作放棄地の発生防止と再生利用に努めています。【鶴岡市農業委員会】

## 解消状況

再生前



再生中



再生後



連絡先：鶴岡市農業委員会（電話番号：0235-64-5868）